

第1 調査の概要

第1 調査の概要

1 調査目的

都内の3歳児におけるアレルギー疾患のり患状況を把握し、平成11年度及び平成16年度に実施した同様の調査結果と比較する。また、3歳児の保護者における行政（都や区市町村）等へのアレルギー疾患対策に対するニーズを把握し、今後、東京都がアレルギー疾患対策を進めていく際の基礎資料として活用する。

2 調査対象及び方法

平成21年10月に都内区市町村で実施した3歳児健康診査の受診者及びその保護者を対象とした。

区市町村に協力を依頼し、3歳児健康診査の会場で無記名による自記式調査票を保護者7,247人に配布し、郵送にて回収を行った。

3 回収状況

有効回答数は2,912人（有効回答率40.2%）

4 調査項目

基本属性、アレルギー疾患の状況、通所（園）状況、アレルギー疾患に関する要望を調査項目とした。

調査項目

項目	内容				
基本属性 (対象者の概要)	性別				
	住所（区部 市・郡部 島部）				
アレルギー疾患の 状況	本人の のり患 状況	親・兄 弟姉妹 の 患 状 の 有 無	医 師 の 診 断	ぜん息	
				食物アレルギー	
				アトピー性皮膚炎	
				アレルギー性鼻炎（花粉症を含む）	
				アレルギー性結膜炎（花粉症を含む）	
				じんましん	
その他のアレルギー					
通所（園）状況	保育所・幼稚園・認定こども園の通所（園）状況				
アレルギー疾患に 関する要望	行政（都や区市町村）に対する希望				
	医療機関に対する希望				
	保育所・幼稚園・認定こども園に対する希望				
	施設・事業者（レストラン、食品製造販売業者等）に対する希望				

5 調査上の分類と定義

ぜん息・ぜん鳴、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、じんましん、その他のアレルギー疾患における症状と診断の定義を下記に示す。

「症状あり」の定義

分類	定義	(参考) 平成11年度・平成16 年度調査の定義
ぜん息・ぜん鳴	これまでに、咳こんだり息が「ゼーゼー」、「ヒューヒュー」するなど、苦しそうな症状が、2回以上あった者	同左
食物アレルギー	これまでに、食事が原因と思われるアレルギー症状を起こした者	同左
アトピー性皮膚炎	これまでに、アトピー性皮膚炎があった者（皮膚の乾燥とかゆみを伴う湿疹をくりかえす）	同左
アレルギー性鼻炎 (花粉症を含む)	これまでに、アレルギー性鼻炎（花粉症を含む）の症状があった者（くしゃみや鼻水、鼻づまりが長引く）	同左
アレルギー性結膜炎 (花粉症を含む)	これまでに、アレルギー性結膜炎（花粉症を含む）の症状があった者（目のかゆみや充血が長引く）	同左
じんましん	これまでに左記の「アレルギー疾患」の症状があった者	同左
その他のアレルギー疾患		

「診断あり」の定義

分類	定義	(参考) 平成16年度調査 の定義	(参考) 平成11年度調査 の定義
ぜん息	症状があり、これまでに「ぜん息」、「ぜん息性気管支炎」又は「小児ぜん息」と医師に診断された者	同左	症状があり、これまでに「ぜん息」、「ぜん息様気管支炎」又は「小児ぜん息」と医師に診断された者
食物アレルギー	症状があり、これまでに、左記の「アレルギー疾患」であると医師に診断された者	同左	同左
アトピー性皮膚炎			
アレルギー性鼻炎 (花粉症を含む)			
アレルギー性結膜炎 (花粉症を含む)			
じんましん			
その他のアレルギー疾患			

臨床症状に基づく発作型分類

分類	定義
間欠型	セキこんだり、軽く息が「ゼーゼー」、「ヒューヒュー」したりする症状が、年に数回、季節的にあった。ときに呼吸困難を伴うこともあったが、そのときだけ気管支を広げる薬（ β_2 刺激薬）を使い、短期間で症状は改善した。
軽症持続型	セキこんだり、軽く息が「ゼーゼー」、「ヒューヒュー」したりする症状が、月1回以上、週1回未満あった。ときに呼吸困難を伴うこともあったが、長く続くことはなく、日常生活が障害されることは少なかった。
中等症持続型	セキこんだり、軽く息が「ゼーゼー」、「ヒューヒュー」したりする症状が、週1回以上あったが、毎日続くほどではなかった。ときにその症状により日常生活や睡眠が障害されることがあった。
重症持続型 1	セキこんだり、軽く息が「ゼーゼー」、「ヒューヒュー」したりする症状が、毎日あった。週に1～2回、その症状により日常生活や睡眠が障害されることがあった。
重症持続型 2	治療を受けても重症持続型 1 の状態が続いた。しばしば夜間に時間外受診し、入退院をくり返した。

「小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2002」から一部抜粋

ATS-DLDとISSACの間診用紙による診断の定義

	定義
ATS-DLD	<ol style="list-style-type: none"> 喘息：以下の1)～6)の項目に「はい」と回答した者 喘息寛解：以下の1)～5)の項目に「はい」と回答し、かつ6)の項目に「いいえ」と回答した者 <ol style="list-style-type: none"> これまで胸がゼーゼーとか、ヒューヒューして、急に胸が苦しくなる発作を起こしたことがある。 そのような発作は今まで2回以上ある。 医師に喘息、喘息様気管支炎または小児喘息といわれたことがある。 そのとき、息をするとゼーゼーとかヒューヒューという音がした。 そのとき、胸がゼーゼーとかヒューヒューして息が苦しくなった。 この2年間に発作（症状）を起こしたことがあるか、喘息、喘息様気管支炎、または小児喘息で治療を受けたことがある。 喘鳴：以下の1)～3)の項目に「はい」と回答し、かつ喘息、喘息寛解に該当する者を除いた者 <ol style="list-style-type: none"> 息をするとき、ゼーゼーとか、ヒューヒューという音がすることがある。 それは、かぜをひいたときである。 この2年間に、胸がゼーゼーとかヒューヒューすることが2回以上ある。
ISSAC	<ol style="list-style-type: none"> 喘鳴（既往） <ul style="list-style-type: none"> あなた（のお子さん）はいままで、胸がゼーゼー、またはヒューヒューいったことがありますか。 喘鳴（現在） <ul style="list-style-type: none"> あなた（のお子さん）は最近12か月間に、胸がゼーゼー、またはヒューヒューいったことがありますか。 医師の診断（喘息累積） <ul style="list-style-type: none"> あなた（のお子さん）はいままで喘息といわれたことがありますか。

「小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2008」から一部抜粋

6 数表の記号及び図表の見方等

本報告書の数表の記号及び図表の見方、注意点等を以下に示す。

- その事象が出現する可能性を持っているが、統計上出現しなかった場合 —
- 平成 21 年度調査における各質問ごとの有効回答数 n
- 平成 16 年度調査結果と比較し、上昇を表す場合 △
- 平成 16 年度調査結果と比較し、低下を表す場合 ▼
- この報告書に掲載の数値は四捨五入してあるため、総数と内訳の合計が一致しない場合がある。
- 平成 16 年度調査及び平成 21 年度調査の結果は、平成 11 年度調査と集計方法が異なるため、単純比較はできない。
- 「これまでに（各アレルギー疾患の）症状があった者」とは、「ぜん息・ぜん鳴」、「食物アレルギー」、「アトピー性皮膚炎」、「アレルギー性鼻炎」、「アレルギー性結膜炎」、「じんましん」、「その他のアレルギー疾患」の症状があったと保護者が判断したものであることから、これらの症状の有無がアレルギー疾患の有無と同義でないことに注意する必要がある。